

別紙様式2

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業および研究協議の要旨

市町村名 和泉市
実践研究校名 南松尾小学校

【公開授業】公開日：平成 25年 7月 11日
対象学年：6年

(教材・教科書名) Hi, friends! 2 (単元名) I can swim	(本時の指導の目標) ○できることやできないことを紹介しながら、友だちと積極的に交流を楽しむ。(コミュニケーション) ○英語の音声やリズムに慣れ親しむ
--	---

(本時の授業において工夫した点)

- ・一人ひとりがみんなの前で自己紹介やインタビューが出来るように考えた。
- ・「話す、聴く、考える」を大切にする活動を工夫した。
- ・友だちに伝えたい、友だちのことを知りたいと思える場面設定をした。

(授業後の振り返り)

- ・友だちの頑張りを素直に評価できた。
- ・「can」と「can't」のリスニングが難しかった子も、最後は楽しんで活動できた。
- ・担任とALT、中学校の英語教員の三人がバランスよく関わるのが難しい。

【研究協議】

(テーマ) 児童の伝えたいことを表現させるような活動にするための工夫	(指導・助言者) 和泉市教育委員会 大橋指導主事
---------------------------------------	--------------------------------

(研究協議で出された意見)

- ・ALT中心に授業が回っていることが多く、今日の授業のように、担任が授業は主導しなければと感じた。
- ・デジタル教材が活用されており、子どもたちにぴったり合っていた。
- ・終始楽しそうに英語にふれあっている姿が見られた。

(結論又は要約)

1. 単元の指導計画や本時の指導案を作成するときに、担任が予め授業の流れを考えておくことが大切である。その上でよりよいチームティーチングを考えていく。
2. 担任が授業の主導的な役割を担うべきだが、ALTにはネイティブならではの発音や表現を担当してもらう等、それぞれの特長を生かした役割分担を行う。
3. 聞き手の態度+話し手の積極性=伝えたいという気持ちになる。